

2

天地誠敬信(天地誠敬信)地界觀(地界觀)の自生的近代性

Autogenous Modernity of the Cheonji-Seonggyeongsin View of Earthly Realm

序論:研究背景と問題意識

- 東学思想および韓国宗教哲学の地観(地觀)
伝統的な天地人(天地人)三才思想と東学の地観概念の発展
- 大巡思想が提起した自生的近代性の問題意識
西欧中心の近代性を超えた東洋的近代性の可能性の模索
- 地界観の意味と研究の必要性
天地神明(天地神明)の三界システムにおいて、地界が持つ特別な位相と、解冤(解冤)の場としての役割
- 研究方法およびアプローチ
『典経』を中心とした文献研究と、天地誠敬信概念の現代的解釈

地観(地觀)と人身降世

- 人身降世(人身降世)の概念と意味

九天上帝が人間の姿で降臨することにより、属性と実体の二つの性格を同時に持つに至る。多重的地観(地觀)の成立背景となる。

「わたしは西洋(西洋)大法国(大法國)天啓塔(天啓塔)に降り、天下を大巡した後、三界の大権を持って三界を開闢し仙境を開き、死滅に陥った世界の蒼生を救おうとしてお前たち東方に巡回する途中、この地に留まったのは....」

- 朝鮮における人身降世の理由

無名の弱小民族を助け、万古に積もった怨を解くためである。特に朝鮮が神明を最もよく待遇する国であったゆえに選ばれた。

- 三神山と地の性格

井邑(井邑)の三神山(蓬萊山、瀛洲山、方丈山)は地の中心として人身降世の地理的背景。天地陰陽合徳の観点からの地の中心的役割。

- 解冤と地の関係

「今や解冤時代を迎えたゆえ、名もなかった人も氣勢を得、捨てられていた地にも氣運が戻ってこよう」地の解冤は天地公事のコア要素。

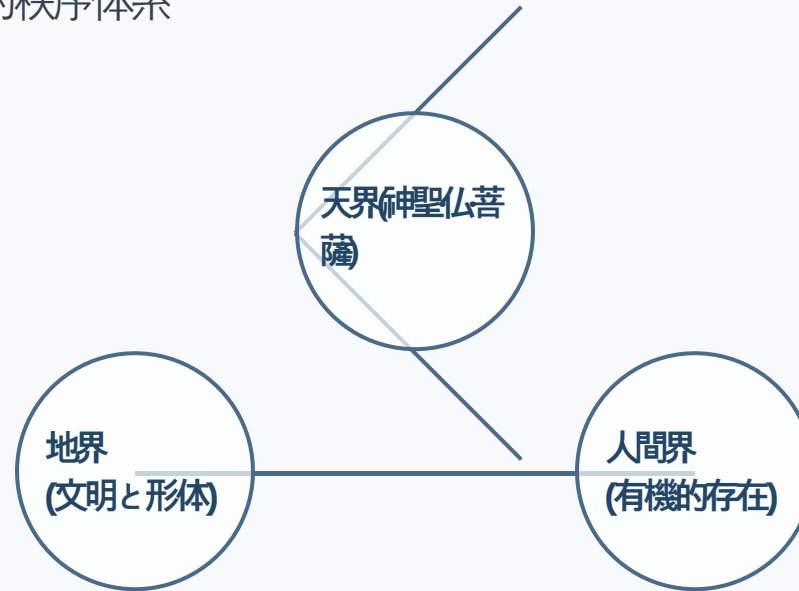
地界觀の近代性解冤と原始返本

「今や解冤時代を迎えたゆえ、名もなかった人も氣勢を得、捨てられていた地にも氣運が戻ってこよう。」

- 原始返本(原始返本)の原理
姜(姜)姓の再出現のように、本来の根本に立ち返る天地公事のコア原理
- 解冤(解冤)の地界的意味
無名の弱小民族と、三神山のような地理的聖地(聖地)を通じた解冤公事の実現
- リミナリティ(liminality)と解冤の方法論
日本解冤と朝鮮報恩の歴史的空間においてなされる、相克から相生への転換
- 自生的近代性の展開
物質に偏らない代案的近代性の発展、および韓国において現れた政治的民主化、経済的産業化、文化的先進化

天地誠敬信(天地誠敬信)と三界システム

- 天地神明(天地神明)概念
天地を運行する神明の至極な誠敬信(誠敬信)によって世界が運行される
- 三界(三界)システム構造
天界、地界、人間界からなる宇宙的秩序体系



"天地誠敬信"

天地の運行は天地神明の至極な誠敬信を通じて成される

儒仏仙と東西地観の再活性化

- 儒仏仙の地界観の主要な原
環 胞胎(胞胎)－礼(禮)と秩序の形成方式 養生(
佛 養生)－精神的修行と心身浄化の空間
仙 浴胎(浴胎)－自然との合一と神仙思想の地形的土台
- 三神山・父母山など聖地と明堂の概念
蓬萊山(蓬萊山)・瀛洲山(瀛洲山)・方丈山(方丈山)の三神山と、地気(地氣)の統一、地脈(地脈)を通じたエネルギーの流れと、聖地の風水地理的特性
- 風水地理と伝統現代の融合
東洋の風水原理と西洋の空間地理学の融合、天地人三才の調和ある配置を通じた解冤の空間の創出、正陰正陽(正陰正陽)を通じた地界秩序の再編
- 再活性化の現代的意味
地域性と普遍性の調和、自然と人間の共存モデルの提示、人間と神明が調和をなす地界観の新たなパラダイム

西洋近代性との比較

- 西洋実体論的地観(地観)

物質的・機械的観点から見た地の理解 — 西洋の地観は主に所有と開発の対象として地を理解

西欧の近代性



過去を廃棄し未来のみを志向物質
的發展と機械的効率性の追求人間
と自然の分離、搾取的関係

大巡思想の自生的近代性



解冤(解冤)を通じた過去との和解
物質と精神の調和ある発展 天地人
(天地人)三才の相生的関係

- 西欧近代性に対する大巡思想の評価

「解冤なき西欧の近代性は、過去の怨をさらに増幅させ、人類を戻ることのできぬ尽滅の境地に至らしめた。」

- 神明(神明)と機械文明

西洋の機械文明は神明を薄待(薄待)し物質的成就のみに集中したが、大巡思想は神明を優待(優待)する朝鮮において天地公事が始まったと認識

- 東西文明の均衡と統合

マテオ・リッチ(利瑪竇)に始まった東西文明交流を、天地公事を通じて再調整し、新たな統合的世界観を提示

結論東西融合と地上天国論

大巡思想の地界観は東西洋の思想を包摂する、自生的近代性の重要な理論的土台を提供する

- 地上天国(地上天國)の思想的意味
解冤と報恩を通じた相生の原理、天地の怨恨解消を通じた後天仙境の実現
- 後天秩序と人間・神明の役割
天地誠敬信を通じた神人依導(神人依導)、神明と人間の相互補完的関係の構築
- 東西儒仏仙の統合的展望
西洋の実体論と東洋の気化論を包摂する統合的思惟体系の提示、物質文明を超えた精神文明発展の方向の模索

今後の研究方向

大巡思想の地界観を基盤に、現代社会の環境空間土地問題に対する具体的解決策の模索

